



2023年度

新規の事業及び変更

教育振興事業

①学校教育活動助成

- ・小中高校、特別支援学校の有為な教育実践活動や各校の教育課題解決のための活動に助成します。
- ・1校8万円以内とし、総額160万円
- ・募集期間：2023年4月3日～6月30日(必着)

②学校教育活動助成(テント)

- ・小中高校、特別支援学校の教育活動のうち野外での有益な活動を行っている学校にテントを助成します。
- ・1校1張、30張
- ・募集期間：2023年4月3日～5月12日(必着)

③教育研究助成

- ・教職員が行っている教育研究に助成します。簡単なレポートでオッケー！
- ・1人1万円とし、総額60万円
- ・募集期間：2023年7月1日～9月29日(必着)
- ※募集要件があります。必ず募集要項にてご確認ください。

④教育文化講座(新規)

- 「郷土で活躍するひと発見」
- ・ユニークな活動の紹介講座です。お土産もありますよ！
- ・HPに講座案内と応募用紙を掲載します。
- ・年3～4回を予定

※各事業の締切日を厳守しますので、申請書はお早めにご用意ください。
また、募集要項等は2023年3月下旬にHPへ順次掲載予定です。

福祉事業

①入学祝金

- ・図書カード贈呈から、指定口座へ5,000円給付に変更します。

②30歳誕生祝品

- ・図書カードから、5,000円相当の祝品に変更します。

③研究図書補助

- ・申請が必要となります。
- ・現職会員全員へ図書カード1,000円を贈呈してきましたが、2023年度からは申請により3,000円の図書カードの助成となります。
- ・HPに掲載される「研究図書助成要項」で確認ください。

④宿泊補助

- ・申請書(HPからダウンロード)により、申請ください。
- ・「宿泊補助」要項によりますので、HPで必ずご確認ください。
- ・多くの方にご利用いただけるよう、1人当たりの利用制限を設けます。

※結婚祝金、出産祝金、入学祝金の申請は、事由発生後1年以内を厳守します。

ほの“つ・ぶ・や・き”

～駅前通りと近江町市場館から～



皆さん、こんにちは。日教弘石川支部専任幹事の③です。今回のぼっちめしは・・・レギュラーサイズ・税込1000円未満(R4・12月現在)で食べられる海鮮丼を2つ！

まずは、山の幸と3種類以上の海の幸がのった、その名も「山海丼(さんかいどん)」。金沢駅の目の前、旧近鉄ホテル跡地のそば、駅前通りに面した「長八・駅前店」のランチメニュー。例のごとく、「数量限定」。やられるう～。注文の際は「山海丼、まだ、ある？」がいつもの③の口癖。この日の山の幸は、シソのかかったとろろときゅうり、海の幸は、サーモン、ぎす、いか、がんどにいくらトッピングう～。どの具材も細かくしてあるので食べやすい。いろんな具がお口の中でマリアージュ。海鮮単独もよし、山掛け風もまたよし。ランチはお汁も大切。ここはいつも出汁が効いてて、生の海藻もさりげなく入ってて、手抜き無し。なんだか、ほっとします。おススメ！

次に、近江町市場館2階、「市の蔵」のランチメニューのひとつ、「賄い丼(まかないどん)」。名前は裏方さん専用の

手っ取り早い食事のイメージですが、なんのなんの、立派な海鮮丼。ゆかりとろろとおくらセクションの横に、マグロの赤身、サーモンにぎすなどがぶつ切りで、どーん！このダイナミックさが、賄いっばいね。お刺身感、全開。これもまた、「数量限定！！」マーク付き。「賄い丼、まだ、ある？」つい、店員さんに尋ねてしまう③でした。ここの汁椀も出汁が効いています。うまし。どちらの丼も、注文から「着丼」までが早いのも特徴。限られた昼食時間内に収めるためには大切です。

観光客用の海鮮丼は、海鮮が極めて大振りにカットされていること多し。なのでお刺身単独でお醤油にくぐらせた後に、丼に戻して食すパターンが主流のようです。今回の2つの海鮮丼の具材はどちらかという細かいので、わさび醤油を別途お好みで調整したものを丼の具材に上掛けするのがよろしいかと。箸よりも、付随した木製スプーンですくって豪快にどーぞ。ガツガツ・ツルツル入っていきます、するすると。



山海丼 長八



賄い丼 市の蔵

今回紹介する支部事業は・・・

「教育実践研究論文(学校部門)」事業。皆さんが日々行われている教育実践の報告の場として、A4サイズ4ページの実践研究論文を広く募集し、優れた実践記録と認められると「支部奨励賞」として1校につき5万円を給付する事業です。さらに本県における上位最大3編については、県代表として、全国大会に相当する「日教弘教育賞」に推薦するという仕組みです。県代表に推薦された段階で「奨励賞」としてさらに10万円、「最優秀賞」受賞なら50万円、「優秀賞」なら40万円、「優良賞」なら30万円が日教弘本部より給付されます。給付金はそれぞれの学校のニーズに合うよう、自由にお使いいただけます。会計報告や領収書も不要です。今年度、本部へ推薦した2編について、学校名・校長名・研

究主題～研究副題～を紹介します。

○加賀市立湖北小学校・坂口明美校長・自ら考え行動できる児童の育成を目指す学校経営～組織的な取組を通して教師力を高める～

○金沢市立大徳小学校・島倉晴信校長・キャッチーな「愛言葉」で心を育て、心を繋ぐ「うちの学校」～教職員も子どもたちも「思いやりのあふれる大徳小学校」をめざして～

それぞれの論文の具体的な内容については、次年度発行の「報告集」に掲載予定です。乞う！ご期待！

日教弘石川支部は皆さんの日常の教育実践を応援しています！！今後ともよろしく願いいたします。ではでは。

今回は、この辺で。CU ASAP！

ありがとうございます

公益財団法人日本教育公務員弘済会(略称 日教弘)の教育振興事業及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に大きく貢献しています。